

基本目標 1 東日本大震災からの復興まちづくりを早急かつ着実に進める

| No. | 主な重要業績評価指標（KPI） | H28 目標 | H28 実績 | 委員評価 | | 委員質問・指摘事項等 | 質問・指摘事項に対する回答・対応 | |
|-----|------------------------------|--------|--------|------|---|------------|---|--|
| 4 | 復興公営住宅完成率 100% | 84.4% | 78.1% | 実績 | ○ | B | 整備計画戸数や地域は適正か。6年経過の現時点で精査していくようだが、事業中止や戸数を減らす判断が正しくなされる事を希望する。 | 整備計画戸数を4,700戸としていますが、事前登録状況を踏まえ、必要戸数を整備します。市全体のまちづくりの観点から、地区別計画戸数を設定し、整備を進めています。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |
| 5 | 市街地再開発事業完成率 100% | 100% | 100% | 実績 | ◎ | A | 3つの再開発事業の整備が完了しているが、他の計画（優良建築物等整備事業）もあると聞いているため、それらを含めたKPIとするべきではないか。 | 優良建築物等整備事業は法的根拠に基づく事業ではなく、事業実施が流動的となっているため、KPIに設定することは難しい。 |
| | | | | 改善点 | ◎ | | | |
| 10 | 半島部における拠点エリアの整備事業完成率 100% | 50.2% | 10% | 実績 | × | C | 事業があまり進捗していないように感じるが、どういう理由があるのか。鮎川地区はとてもし進んでいるように感じられるが、雄勝、北上地区は遅れているように感じる。 | 国、県、市の他事業が輻輳していることから、それらの調整に時間がかかっていることが原因である。各拠点について一層の加速化を図って行きたい。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |

基本目標 2 人材を育成し安定した雇用を創出する

| No. | 主な重要業績評価指標（KPI） | H28 目標 | H28 実績 | 委員評価 | | 委員質問・指摘事項等 | 質問・指摘事項に対する回答・対応 | |
|-----|-----------------------------------|----------|----------|------|---|------------|---|---|
| 19 | 地域医療福祉セミナー参加者数 50人/年 | 50人/年 | 9人/年 | 実績 | × | C | 外部からの人材を石巻に誘致するために開催されているものと思われるが、厳しい状況にあるように見受けられる。現在事業を実施する中で改善している点があればお聞きしたい。 | 市立病院は東北医科薬科大学のサテライト施設としての役割もあるため、施設の研修体制が確立すれば、セミナーにもつなげていけるのではないかと考えている。また、医師会等と連携した研修会も予定されており、その中でセミナーを展開していければよいと考えている。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |
| 25 | 農林水産業新規就労者数 (H27~H31累計) 20人 | 5人 | 4人 | 実績 | ○ | B | 農業に関する事業費が減っている理由を教えてください。また、農業分のKPIの実績がゼロとなっているが、実績に後継者が戻った場合は含まれていないのか。 | 事業費は助成事業の実績となっており、要件が「1回しか助成を受けられない」となっていることが要因の一つと考えられる。実績については、単純に後継者が戻ってきた場合は、新規就労者として数えておらず、新規に都市部から移住して農業をしたいという者を受け入れた場合に数える。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |
| 31 | 外国人観光客宿泊者数 1,290人/年 | 1,070人/年 | 1,497人/年 | 実績 | ◎ | A | 今後、インバウンドは国を挙げての施策になるので積極的に取り組んでほしい。宿泊者数だけで、外国人観光客に対する効果が計れるかどうか心配。 | 外国人観光客の利便性確保に向け、積極的に取り組んでいきます。また、宿泊以外の外国人の来訪者がいることは認識しているが、街頭調査等による把握は継続実施が困難であるため、宿泊者数を調査対象としている。今後は、外国人観光客の把握にあたり、様々な手法も検討していきたい |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |

基本目標 3 絆と協働の共鳴社会をつくる

| No. | 主な重要業績評価指標（KPI） | H28 目標 | H28 実績 | 委員評価 | | 委員質問・指摘事項等 | 質問・指摘事項に対する回答・対応 | |
|-----|---|--------|--------|------|---|------------|--|---|
| 34 | コミュニティづくり支援補助金申請件数（復興公営住宅分） (H27~H31累計) 30件 | 6件 | 5件 | 実績 | ○ | B | 既存の住民自治組織と復興公営住宅入居者の交流を目的としているが、単に補助金を出すだけで良いものか。 | コミュニティ形成策として、当該補助金のほか、復興住宅入居予定者を対象に事前説明会を開催した際に、町内会長等の出席を依頼し、地域の様子を話して頂いたり、入居した際に、復興住宅入居者と住民自治組織との橋渡しとなる役員同士の顔合わせ会を実施するなど、支援に努めている。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |
| 42 | 陶芸丸寿かんけい丸利用者数 10,000人/年 | 0人/年 | 0人/年 | 実績 | × | D | もう少し活用に工夫が欲しい。タイルを利用した歴史的な建物です。外観にちなんだストーリーある利用法を建築や設計、タイルメーカーなどと一緒に考えてはどうか？ | 11月3日の再開館に向けて、タイルや陶器など旧観慶丸商店の歴史に関連した展示についても今後検討していきたい。 |
| | | | | 改善点 | × | | | |
| 43 | 移住コンシェルジュを活用した本市への移住人数 5人/年 | 5人/年 | 3人/年 | 実績 | × | C | 2、3年で帰ってしまうような方もいると思うが、そうした方へのフォローアップはしているのか。 | 追跡調査としては、移住者3名と交流したり、定期的に連絡を取り合ったりしている。移住してまだ間もないので、ケアしながらコンシェルジュ事業を進めていきたい。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |

基本目標 4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

| No. | 主な重要業績評価指標（KPI） | H28 目標 | H28 実績 | 委員評価 | | 委員質問・指摘事項等 | 質問・指摘事項に対する回答・対応 | |
|-----|------------------------------------|--------|--------|------|---|------------|--|--|
| 52 | 石巻市女性人材リスト登録者数 (H31年度末) 170人 | 170人 | 145人 | 実績 | ○ | B | 登録者数は指標にはならない。登録者数の内、女性委員への登用率を示すべき。 | 女性人材リストの登録者数は、審議会等への登用ばかりでなく女性の人材育成も目標としていることから、人材リストからの登用率だけでは測れないため登録者数としている。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |
| 57 | 保育施設待機児童数 0人 | 0人 | 78人 | 実績 | ○ | B | 潜在保育士の掘り出し策では、直接本人に打診する以外に、アプローチの方法などがあれば教えてほしい。 | 身近な方で資格を持っている方が多いので、直接声をかけているのが現状であり、違った角度からのアプローチ方法を検討していきたい。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |
| 60 | 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 85% | 85% | 78% | 実績 | ○ | B | このアンケート結果がなぜ児童生徒の将来に対して夢や希望を持って生活できるようにするための支援施策につながるのか。 | 「学校生活が楽しい」ということは、児童生徒が学校の教育活動に適応していると捉えることができる。そうした状況のもと、教師や友達と関わりながら自己を見つめ、その力を伸ばしていくことが、将来に対する夢や希望を抱くことに結び付いていくものと考えている。 |
| | | | | 改善点 | ○ | | | |

重要業績評価指標（KPI）評価検証結果

（単位：項目）

| 基本目標／委員評価 | A評価 | B評価 | C評価 | D評価 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 基本目標 1 | 2 | 11 | 4 | 0 |
| 基本目標 2 | 5 | 9 | 2 | 0 |
| 基本目標 3 | 2 | 10 | 2 | 4 |
| 基本目標 4 | 3 | 7 | 0 | 0 |
| 全体（合計） | 12 | 37 | 8 | 4 |

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業進捗状況（平成28年度実績）

進捗管理及び総合戦略の改訂

平成27年12月に策定した「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、少子化に伴う人口減少や東日本大震災による人口流出を阻止するため、地域課題に基づき設定されたKPI等の達成状況を確認し、総合戦略の進捗の検証と改善を行っていくPDCAサイクルを確立することとしている。

外部委員で構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」による施策効果の評価や進捗状況の検証を行うとともに、まち・ひと・しごと創生推進本部や市議会での協議を経て、必要に応じて総合戦略の改訂を実施している。（平成28年12月に改定）

重要業績評価指標（KPI）評価検証方法の変更

外部委員の評価方法について、「評価基準が明確でないため評価しにくい」との指摘があったため、点数評価から選択評価に変更した。

変更後は、KPIについて、事業実績と改善点・工夫点の2つの視点で、個別に◎、○、×の3段階で評価をいただき、評価の中で最も多かった意見を基に総合評価を算出した。なお、事業実績と改善点・工夫点の評価基準及び総合評価算出表は以下のとおり。

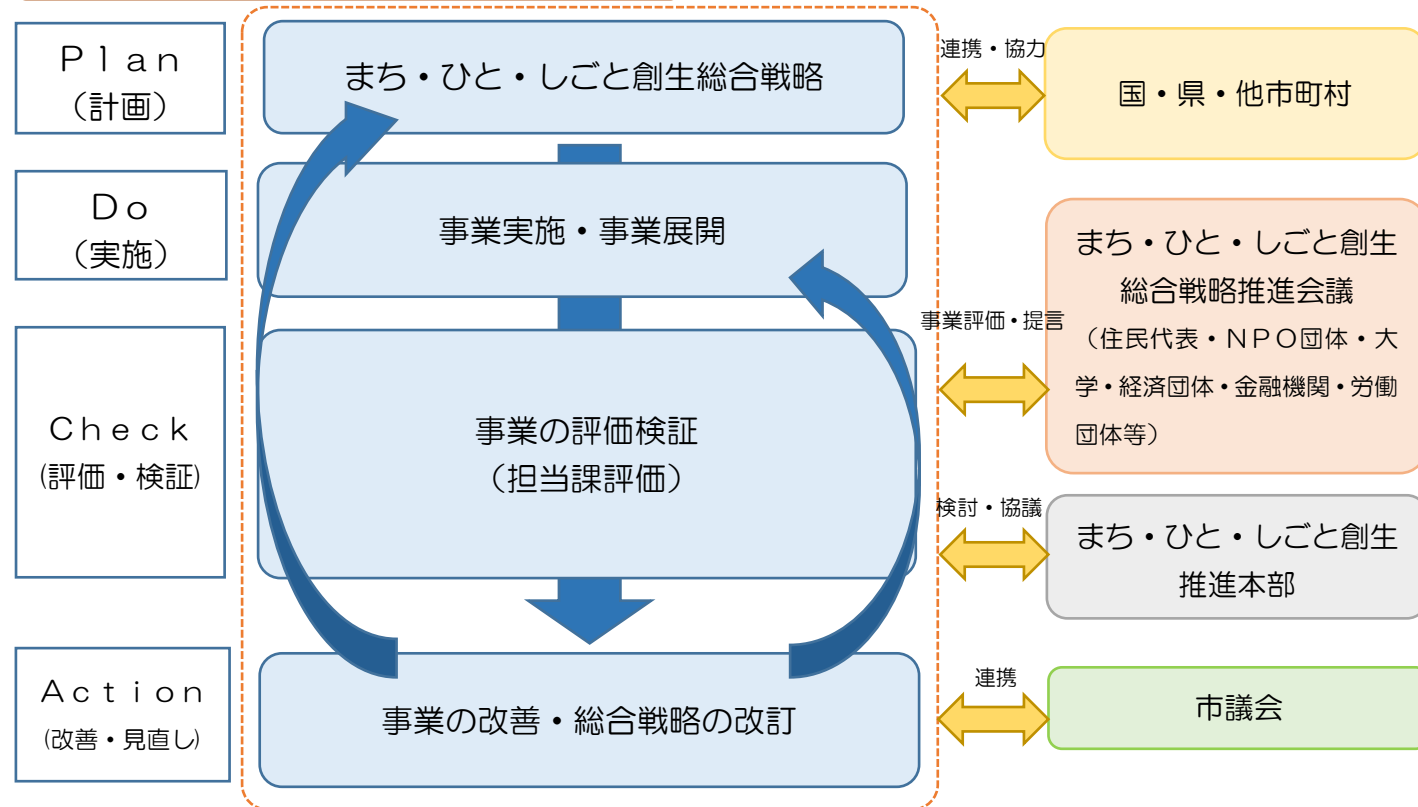
【事業実績、改善点・工夫点の評価基準】

| 評価 | 事業実績 | 改善案・工夫点 |
|----|-------------------------------|-------------------------|
| ◎ | 目標以上に進捗しており、継続して事業を推進する。 | 改善案もしくは工夫点について非常に評価できる |
| ○ | ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。 | 改善案もしくは工夫点について評価できる。 |
| × | 目標を下回っており、要因の分析と事業内容の見直しを要する。 | 改善案もしくは工夫点について見直すべきである。 |

【総合評価算出表】

| 事業実績／改善案 | ◎ | ○ | × |
|----------|---|---|---|
| ◎ | A | A | B |
| ○ | A | B | C |
| × | B | C | D |

PDCAサイクルの構築と推進体制



会議の開催状況

【まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議】

| 開催日時 | 会議名 | 内容 |
|------------|-------------|--|
| 平成29年4月 4日 | 平成29年度第1回会議 | 地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金事業説明 |
| 平成29年7月12日 | 平成29年度第2回会議 | 平成28年度総合戦略掲載KPI実績に係る評価検証①（基本目標1～2） |
| 平成29年7月19日 | 平成29年度第3回会議 | 平成28年度総合戦略掲載KPI実績に係る評価検証②（基本目標3～4） 地方創生加速化交付金及び地方創生推進交付金に係る評価検証 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）に係る評価検証 |

